

YouTube で閲覧可能

日本国際問題研究所では、戦後の竹島問題の動向を理解するため、1945年から1959年まで、地元紙で竹島及びその関連記事の悉皆調査を行い、昨年12月に報告書3冊を刊行しました。その結果、行政文書では残っていない、新事実が多く判明しました。

本ウェビナーでは、船杉 力修先生より、新聞悉皆記事報告書の研究成果のうち、竹島の地元である、島根県隠岐で戦後どのように竹島返還運動が始まったかについて分かりやすく発表頂きました。



1. ウェビナー開催日時：2023年10月13日（金）12：00-13：00
2. 登壇者：船杉力修 島根大学法文学部教授
3. ウェビナーの発表資料はこちら（別紙資料をご覧ください）
4. 参考資料はこちら（別紙資料をご覧ください）

上記ウェビナーを「YouTube」で見ることができます。

【閲覧方法1】日本国際問題研究所のHPから
ホーム>イベント実施報告>公開ウェビナー「島根県隠岐における竹島返還運動の始まり—『島根県地方紙における「竹島報道」悉皆調査報告書』の編纂を通じて—」を選択願います。

【閲覧方法2】携帯電話で右のQRコードを読み込んでください。



※このチラシは、公益財団法人日本国際問題研究所の承諾を得て隠岐の島町竹島対策係が作成しました。